



全町自治会長会議

町民の声を行政に

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした平成30年度全町自治会長会議が10月30日(火)、地域交流センターにおいて開催されました。会議には、各自治会代表11名、町からは町長、副町長、教育長、各課長等が出席して、意見交換等が実施されましたので、その概要をお知らせします。

なお、各自治会からの要望事項に対する町からの回答につきましては、すでに各自治会宛に文書で回答しておりますので省略します。

●町政執行に対する基本的姿勢(誓約)

町長 全町自治会長会議につきましては、本年度から秋に開催させていただきましたこととしたところであります。これまで秋に開催してありました「地区別町政懇談会」につきましては、参加者数の減少により会議の開催目的を果たすことができなくなってきたという状況により、平成29年度から一時休止としたところであり、全町自治会長会議におきましては、各自治会からの要望を新年度予算に反映させることができるように、今年度から地区別町政懇談会に代わって開催時期を秋にさせていただきます。

さて、現在、夕張市は財政難等により破綻し、国の管理下に置かれております。一昔前までは想像すらできなかった「自

治体の破綻」ということも現実として起こりえる厳しい環境にある中で、本町の財政状況について、報告させていただきました。

平成29年度決算では、一般会計で72億8837万円、特別会計の7会計と病院会計を合わせた9会計の総額は、104億7888万円で、前年度と比較しますと15億4742万円の大増となったところであります。

主な歳出と増加理由につきましては、基金積立に2億円の増、国保事業会計および介護サービス事業会計の経営安定化のための繰出金2億2千万円の増、規模拡大に取り組む農業法人等に対し、国の補助制度を活用し、前年度比5億円増の9億9700万円の補助を行ったほか、漁協の水産加工施設整備に伴い、

合い、積極的、かつ力強く行動してまいりますので、皆さまのご支援・ご協力、そしてときには叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

●意見交換

町政全般に関する意見交換等が実施されました。

主な意見交換の要旨は次のとおりです。

閩新沢木自治会長 9月の停電に関してですが、沢木地区では、沢木のつどーれと、沢木小学校が避難所になっています。沢木小学校には発電機がありますが、つどーれにはありません。町として発電機を何機所持していて、どのように災害に対応しているのか教えてください。

閩住民生活課長 沢木では、つどーれと沢木小学校が避難所になっていますが、従前から沢木小学校に発電機が設置されています。

地域として、人の集まりやすい方に設置をお願いする方が多いということであれば、つどーれに発電機を設置するなど、柔軟に対応していきたいと思えます。

閩税財管理課長 発電機を設置している公共施設は、役場庁舎、地域交流センター、雄武ダム、共栄浄水場、青葉第2浄水場、沢木浄水場、浄化センター、町民センター、国保病院、雄愛園、消防雄武支署の11か所となります。

これらの施設は発電機を固定して設置しています。移動できる小型のものは、沢木小学校、幌内歴史と生活の家、音稲府地域住民センター、風の子児童センターに設置しています。これらの発電機を活

2億7千万円の補助を行ったことが大幅増の要因であります。

また、本年度予算では、総事業費6億5千万円を要しました図書館建設につきましては、本体工事の年度末完成に向け、現在建設中であります。

歳入では、依然として地方交付税に大きく依存していますが、平成29年度におきましては、町税全体では、前年度比0.84%と微増となったところであります。

町の貯金であります基金残高は、早くから行財政改革を積極的に進めたことにより、この10年間で着実に残高を伸ばしてきており、平成29年度末の基金残高は、43億円ほどとなっております。

一方、借金であります地方債残高は、一般会計ではピーク時の平成11年度末で87億円ありましたが、現在では54億円ほどで推移しております。

また、地方自治体の財政内容を判断する「健全化判断比率」におきましても、雄武町は国の基準を大きく下回っており、オホーツク管内で5番目に良い数値であり、全道179市町村中、44番目に良い数値を示しており、現状では健全な財政内容を保っております。

それから、「雄武町ふるさと応援寄付金」であります。昨年度の実績で寄付金件数は若干減ったものの、寄付金総額は1億5744万円と前年度以上に達したところであります。平成29年度からは、寄付金を財源として、学校給食の完全無償化を実現したところであります。

ふるさと納税につきましては、本年度に入ってから、ふるさと納税を取り巻く状況が変化し、全国的に返礼品や返礼割

ています。

閩錦町自治会長 先日大雨で近くの川が少し氾濫しました。

何ミリ雨が降ったら川が氾濫するということを町は把握していますか。

閩住民生活課長 数年前に大雨があり、農家の牧草地が浸水したときは、150ミリ程度でした。

1時間に10ミリ程度の雨が、6時間以上続いた場合、氾濫の危険があると考えています。今回の結果を1つの基準にしたいと思っています。

閩宮下町自治会長 現在、町内に4つの小学校がありますが、今後もこのままの体制で続けていくのですか。

閉校した幌内小学校の今後の活用予定はありますか。

閩教育振興課長 平成31年度における、小学校への進学予定者数は、雄武小学校が29人、沢木小学校が3人、豊丘小学校が2人、共栄小学校が0人の予定であり、平成32年度については、雄武小学校が21人、沢木小学校が7人、豊丘小学校と共栄小学校が0人の状況であります。

幌内小学校の活用方法は、協議を行っていますが、今のところ幌内地区からの要望がない限り活用については未定です。

閩教育長 学校の体制については、今後の見込として、沢木小学校以外は人数が減っていく一方です。共栄小学校については、再来年に児童数が3人になる見込です。豊丘小学校も10人を切ってしまうかもしれません。このことから学校として機能していくかを見極めていかな

合の見直し議論されるなど、本町においても少なからず、影響を受けているところがあります。

また、オホーツク紋別空港羽田直行便についてはありますが、全日本空輸株式会社、本年度についても通年運航する旨の発表を行いました。紋別羽田線につきましては、平成29年度の搭乗実績が7万2851人となり、オホーツク紋別空港利用・整備促進協議会としての目標搭乗者数7万8000人には到達していませんが、前年度とほぼ変わらない実績となっていることから、引き続き通年運航が正式に確定したものであります。地域の重要な空路であります、オホーツク紋別空港の利用促進につきましては、東京直行便の通年運行をこれからも維持するために、さらなる搭乗率向上と首都圏からの交流人口の拡大を図るため、「オホーツク紋別空港利用促進事業」の取組みを継続していきます。

また、9月6日発生の北海道胆振東部地震におきましては、停電や電話の不通により、大変ご不便をお掛けし誠に申し訳ありませんでした。町としましては、関係機関とともに北海道電力やNIT東日本などへの要請を行い、今後、このような事態が二度と生じることがないように働きかけていくこととしているところであります。

また、今回の災害を教訓としまして、今後、同様の事案が発生した際の対応に生かしていきたいと考えております。

私の町政運営の基本理念であります「郷土愛に燃え、明るく豊かなまちづくり」の実現のため、職員ともども知恵を出し

ければいけないと思っています。最近の状況を見ると、豊丘小学校と共栄小学校の存続はかなり厳しいと考えていますが、地域のコミュニティの核として学校が存在しているという実態もあることから、地域の声を反映させたいと考えております。

閩元沢木自治会長代理 今回の停電によるホテル日の出岬の損失額を教えてください。

また、損失額と発電機設置の経費を考慮し、可能でしたらぜひ発電機を設置していただきたいです。

閩副町長 停電に関するホテルの損失については、冷蔵の物、その他在庫品、温泉入浴客の減少等と合わせて、概算で350万円と試算しています。

停電に対応するための設備については、過去に積算したところ7000万円程度と試算した経緯がありまして、現在ではもう少しかかるだろうと考えています。

オープンして20年が経過し、いろいろなところもありますので、なかなか優先順位をつけづらいところもありますが、時間をいただき検討していきたいと考えております。

